南海トラフ「巨大地震注意」

「平常時と比べ可能性高い」

気象庁、宮崎震度6弱受け発表

気象庁は8日、南海トラフ巨大地震の臨時情報で「南海トラフ巨大地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっている」として注意情報を出した。午後4時43分ごろ、宮崎県南部で震度6弱の地震があり、調査していた。最大規模の地震が発生した場合、関東から九州にかけての広範囲で強い揺れ、関東から沖縄にかけての太平洋沿岸で高い津波が想定されるとして、注意を呼びかけた。

臨時情報は「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）として、2017年11月に運用が始まった。19年に「南海トラフ地震臨時情報」と名称が変わり、現在の基準に改定されている。臨時情報が発表されるのは今回の地震が初めてとなった。

気象庁によると、震度6弱の地震の震源地は日向灘で、震源の深さは約30キロ。地震の規模はマグニチュード（M）7・1と推定される。

中日新聞
発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811
2024年（令和6年）
8月8日（木）

号外

購読
ためしよみ・購読のお申し込みは
0120-45-4010
ためしよみ
ネットでもニュース
中日ウェブ
中日スポーツ
検索